SSTK



通巻 6462 号

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会

〒332-0011 川口市元郷 1-10-13

電話 048-225-1625

編集人 社会福祉法人さくら草

〒336-0015 さいたま市南区太田窪 3501-2

http://www.sakuraso.net/

電話 048-813-7426 Fax 048-886-6301

E-mail <u>sakuraso@www2.kiy.jp</u>

時は2012年10月。『私は、運動会がやりたい』 山本理事長に 宛てられた手紙です。心を奮わせて、現場のスタッフに相談しました。 「ニヤリ(笑)」"やるしかないでしょ!"熱いくせにクールな反応。 さくら草の現場スタッフ、みんなカッコいいっす。

競技は手紙の案 3種目です。当日 参加ができなくて も、自分の組を 応援する気持ち は変わりません。 車いすに乗ってい ても、医療的ケア が必要でもみんな、



HP

「綱引き(青組)全力で!!」

一生懸命でしたね!!そして・・・2013年5月15日。雲が程良 く走る晴天。近所の明花公園。手紙の彼の開会宣言が大地に響きまし た。(野島)



「玉入れ(赤組)カゴは動く!」





「本気。白組、リレー選手団!」



優勝は逃したが、彼こそ!

2013年10月5日(土) 11:00~15:00 場所:デイセンターさくら草・コスモス 雨天決行

みなさんであそびに来てください!

- THE 運動会にご協力いただいた方々 -

ボランティア 森さん、しっかりお礼を言えずにごめんなさい。学業も がんばって!ベーカリー市川さん、色んなパンおいしかったです。浦和 特別支援学校様。さいたま市公園緑地協会様、柔軟な配慮、ご協力あり がとうございます。おかげ様でこんなに楽しい運動会になりました。





☆ようこそ!! さくら草☆



平野友樹さん

6 月からふたば班 に所属していま す。楽しい毎日を 一緒に過ごしま しょう♪







~理論が一部にの向こう側

デイセンターさくら草では6月12日(水)に健康診断を行いました。

健康診断と言えば、身体測定、心電図、レントゲン、などありますが一番の目玉は職員も含め、皆さんが嫌がる『採血』です。採血になると逃げてしまう方、緊張して様子が変わる方などとても賑やかになります。

採血が終わると緊張で強張っていた顔が飛びっきりの笑顔に変わりました。腕には頑張った証の血液を止めるシール。 帰宅するまで剥がさなかった方も。健康診断が終わった後の デイセンターさくら草は笑顔でいっぱいになりました。

(福岡)



4月22,24日 社会福祉施設・社協新任職員研修(天川)

17,19日 社会福祉施設・社協中堅職員研修 (佐藤、富田)

24 日 障害者就労施設支援事業説明会(鈴木)

5月 7日 さくら草特別支援学校見学(山本、近藤、市川)

15 日 運動会

18日 とことん実技のトランスファー研修会(関口)

26日 デイ・コスモス玄関カーペット交換

30日 さくら草特別支援学校生実習

6月4日 浦和特別支援学校見学(渡邉、佐藤、森戸)

6 日 越谷特別支援学校生実習

12 日 健康診断

24,25日 社協中堅職員研修(杉山、春田)

28 日 感染症基礎研修(車谷、上島、杉山)

6月18,19,26,27,28,7月2,3日 浦和特別支援学校生実習

7月2,4,9,12,17,24日 喀痰吸引研修(森戸)

9.10 日 大宮北特別支援学校生実習

健康診断―年2回 ヘアカット(理・美容) 通院介助 体重測定―毎月 誕生会―各誕生月 音楽療法―月1回 アロマセラピー―月1回 みんなのアトリエ―月2回 静的弛緩誘導法訓練会参加―月1回 陶芸―月2回 家族会―月1回 さくら草せっけん教室-月1回



今年の1月から新しく職員も増えたのでサポートさくら草 全職員の軽い自己紹介をしていきたいと思います!





- ① 名前
- ② 好きな事
- ③ 好きな言葉
- ④ 今年の目標



99999999999

- ①杉本 恵美
- ②中国音楽鑑賞 マツコ・デラックスの 出る深夜番組を見る事
- ③のんびり
- ④老後に備え 貯金する!



99999999999

- ①金 紳太郎
- ②体を動かす事
- ③一期一会
- ④利用者の皆さんと

笑顔で元気に 過ごす事



9999999999

- ①青木 昌徳
- ②家族と過ごす時間
- ③—期—会
- 4体調管理



99999999999

- ①佐々木 千恵
- ②趣味:浪費 特技:貯蓄
- ③モラルとマナー
- ④美容と健康



99999999999

- ①石本 和明
- ②動物鑑賞
- ③雪後の松
- ④自分らしく



99999999999

- ①佐々木 堅
- ②バーディー
- ③ナイスパー
- ④70台



- ①野口 明美
- ②Kim Hyun Joongの CDを聴きDVDを観る
- ③ "大事"

(大丈夫という意味の方言もある)

④ハングル語 を頑張る





これからも、職員全員一丸 となりサポートさくら草を 盛り上げていきますので これからもお願いします!



サポートゆず

今回は、サポートさくら草から利用を始め、ゆずを含めて13年のお付き合いをさせて頂いています

小澤優美子さんのお母様、三千代さんの声を載せて頂きました。

Q. ゆずを利用するきっかけは?(当時はサポートさくら草)

A. さくら草の理事長、山本さんの講演会で福祉サービスの話を伺い、サポートを知りました。これからの時代はこれだ!!と思いすぐに登録させていただきました。



Q. 子育てで楽しかったことまた今楽しいことは?

A. 子どもが小さい時は試行錯誤、迷ったり考えこむこともありました。優美子は3才から6才まで大崎児童学園→さくら草学園、一緒に子どもの成長を喜んでくれる先生方、お母さん仲間に助けられ、心の支えとなりました。優美子は高等部を卒業しましたが、今もお付き合いは続いています。

Q. 今春高等部を卒業されましたが、どのようなお仕事をしていますか?優美子さんの頑張 りも教えて下さい。

A. 仕事としては主にタオルたたみです。4. 5歳から家でもお手伝いをし、今では乾いたタオルを積んでおくと自分の仕事だと思い、いつのまにかたたんでくれます。偶然ですが、今の仕事と繋がっています。余暇では、さいたまシテイマラソンなど各地で行われる大会に出かけ、

東京マラソンは3年連続10kmを走りました。

Q. ゆずを利用して印象に残っていることは?

A. 思春期を迎えた中学部の3年間が一番大変な時期でした。一日中(夜中でも明け方でも)いつとはなく起こる大パニックと発作、そしてアレルギー。1ヵ月学校に通えず、そして、アレルギーとパニックを繰り返す優美子と何処にも出られず、私自身が出口の見えないトンネルに入り、追い詰められました。私は仕事を持っていたのでゆずに優美子をお願いしていました。そんなある朝、我が家に一枚のファックスが届きました。ゆずからでした。「お母さん今日は一日ゆみちゃんに付き合います。ゆみちゃんの様子は全て聞いています。どんなことがあっても大丈夫!パニックになってもおさまるまで待ちましょう。時間はたっ



ぷりあります。落ち着いたら美味しいごはんを食べましょう。一緒に散歩しましょう。外に出て澄んだ空気を吸えばゆっくり落ち着くでしょう。そうなることを望みじっくり待ちます。そんなようにゆみちゃんと過ごしていきたいと思います。…」と書かれていました。涙が出るほど嬉しく感謝の気持ちに堪えませんでした。優美子を小さい時からサポートで育てていただき、地域で暮らすってこういうことなんだ!と再認識した出来事です。このファックスは今でも私の宝物です。

ゆずは利用者の心に寄り添ってサポートしてくださる素晴らしいところ!と自慢出来ます。

Q. ゆずへの要望はありますか?

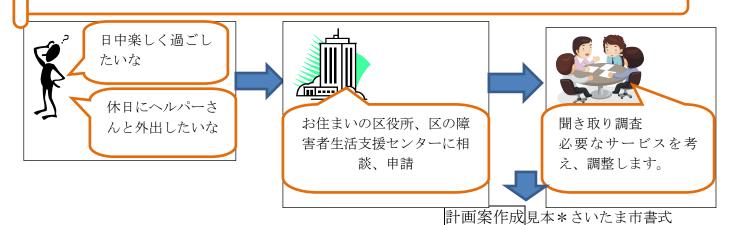
A. ずっとずっと今のままのゆずでいてください。そして現在ゆずの利用(登録)を待ち続けている大勢の人のために、第二、第三のゆずができることを切望します。

平成16年ゆずがスタートしました。もうすぐ丸10年。小学生だった子どもたちが高等部を卒業し、新天地で頑張っています。卒業式に参列させていただき、先生方の根気と熱意のある取り組み、いろんな事を乗り越えてきた親御さんの心情を、そして今目の前で立派に舞台に立ち、卒業証書を手にしている姿に涙しました。思春期、反抗期を共に悩み、乗り越え、また社会に出ても山あり谷あり、そんな人生の過程を共に歩み続けましょう。(丸中)

南区障害者生活支援センターあみ~ご

今回のテーマ「サービス利用計画(計画相談)作成の流れ」

ポイント! 今年度は、新たに障害サービスを利用する方が対象となります。現在何かしらのサービスを利用している(通所施設、ヘルパー等)方は、来年度以降に作成することになりますので、ご注意ください。



開始 年 月(か月間) 年 月 日~ 年月 日 計画作成日 計画の期間 モニタリング実施期間 回 年 月 日) 障害福祉サービス受給者証番号 前回 利用者負担上限額 氏名 あみ~ご 花子 障害程度区分 A特別支援学校卒業後、さくら草に通うことになった。 生活全体の希望(こんな暮らしをしたい) デイセンターさくら草で楽しく過ごしたい。 休日は、ヘルパーを利用して遊びに行きたい。 支援方針 その理由 短期(1~3ヶ月) 新しい環境に慣れるよう支援する 学校卒業して新しい環境での活動となるため、関係機関と調整しながら順調にサービス利用を進めるため 継続的に通所、ヘルパー利用できるよう支援する 引き続きサービス利用できるように、様子確認をして、必要な支援を確認するため 長期(3ヶ月~1年) やってみたいこと・困っていること そのために必要なこと 開始する時期 1 所得、経済基盤に関わる希望 2 居住環境に関わる希望 3 健康に関わる希望 -1 コミュニケーションに関わる希望 -2 身の回りのことに関わる希望 5 社会生活に関わる希望 休日に遊びにいきたい 移動支援事業 平成25年4月1日~ サポートゆず 月30時間 6 家族の希望 7 労働や日中活動に関わる希望 牛活介護事業 平成25年4月1日~ デイセンターさくら草 原則日数 日中楽しく過ごしたい 8 その他 相談支援事業所名 南区障害生活支援センター あみ~こ 担当者名 あみ~ご太郎 同意署名 (代筆の理由) 同意をもらいます 定期的なモニタリング

今回は簡単に計画相談の流れを伝えました。あみ~ごでも南区在住の新規サービス利用者を対象に、計画作成を進めています。計画相談については、今後も情報提供していきます。

本計画作成と同意

(計画見直し、継続)

南区障害者生活支援センターあみ~ごに、ぜひ一度ご相談ください。ご連絡お待ちしております。 電話:048-866-5098 FAX:048-866-5128 (相談受付:平日9:00~17:00)

サービス利用開始

受給者証発行

社会福祉法人さくら草 平成24年度決算書

資金収支計算書			単位:円
勘定科目	予算	決算	差異
就労支援事業収入計(1)	2,538,000	2,462,070	75,930
就労支援事業支出計(2)	2,538,000	2,462,070	75,930
就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0
福祉事業収入計(4)	555,258,691	548,868,382	6,390,309
福祉事業支出計(5)	498,046,864	492,569,361	5,477,503
福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	57,211,827	56,299,021	912,806
施設整備等収入計(7)	4,308,000	4,308,000	0
施設整備等支出計(8)	14,626,694	14,858,572	-231,878
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	-10,318,694	-10,550,572	231,878
財務収入計(10)	2,128,000	2,128,000	0
財務支出計(11)	51,680,000	51,680,000	0
財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)	-49,552,000	-49,552,000	0
予備費(13)	0	0	0
当期資金収支差額合計(14=3+6+9+12-13)	-2,658,867	-3,803,551	1,144,684
前期末支払資金残高(15)	189,471,687	189,471,687	0
当期末支払資金残高(14)+(15)	186,812,820	185,668,136	1,144,684

事業活動収支計算書		単位:円	
勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
就労支援事業収入計(1)	2,462,070	2,227,333	234,737
就労支援事業支出計(2)	2,188,192	2,213,125	-24,933
就労支援事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	273,878	14,208	259,670
福祉事業収入計(4)	532,006,784	483,841,477	48,165,307
福祉事業支出計(5)	520,489,514	463,479,415	
福祉事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	11,517,270	20,362,062	-8,844,792
事業活動外収入計(7)	49,521,137	35,020,806	14,500,33
事業活動外支出計(8)	19,125,140	20,287,616	-1,162,476
事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	30,395,997		
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	42,187,145	35,109,460	7,077,68
特別収入計(11)	4,113,399	3,380,000	733,399
特別支出計(12)	4,098,479	3,380,000	718,479
特別収支額(13)=(11)-(12)	14,920	0	14,920
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	42,202,065	35,109,460	7,092,60
前期繰越活動収支差額(15)	185,503,611	153,394,151	
当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	227,705,676	188,503,611	39,202,065
基本金取崩額(17)	0	0	l (
基本金組入額(18)	0	0	
その他の積立金取崩額(19)	2,128,000	0	2,128,000
その他の積立金積立額(20)	50,000,000	3,000,000	
次期繰越活動収支差額(21=16+17-18+19-20)	179.833.676		

貸借対照表						単位:円	
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	401,353,389	388,097,409	13,255,980	流動負債	225,307,967	207,385,696	17,922,271
固定資産	282,773,184	236,627,182	46,146,002	固定負債	41,279,960	39,731,640	1,548,320
資産の部合計	684,126,573	624,724,591	59,401,982	負債の部合計	266,587,927	247,117,336	19,470,59
				基本金	63,978,900	63,978,900	
				国庫補助金等特別積立金	119,854,070	122,124,744	-2,270,674
				その他の積立金	53,872,000	6,000,000	47,872,000
				次期繰越活動収支差額	179,833,676	185,503,611	-5,669,935
				純資産の部合計	417,538,646	377,607,255	39,931,39
				負債及び純資産の部合計	684 126 573	624 724 591	59 401 982

情報開示は、これまで閲覧希望に応える形をとっておりました。今年度より、広報で開示し、 法人運営の透明性の確保を行います。今後とも健全な運営に努め、どんなに重い障がいが あっても豊かな地域生活が送れるように支援していくことを理念に、医療的ケアが必要な方 を含む重度障がい者を対象にしたケアホーム建設、特別支援学校を卒業後の進路先に困ら ないように生活介護事業所等の施設整備を進めてまいります。(山本)

編集後記

THE 運動会。みんなが全力を出した。ひと りの利用者さんの声を実現する気持ち良さ。 おれたち、いいチームだ。猿の被り物、サイズ ぴったりでしたよ! 広報 第24号(N)